

《第142回》 令和七年四月の作品

〈四月十一日（金） 於・文京シビックセンター5D〉

父吹けば児が駆けて追ふしゃぼん玉 （一江）

寺町に風通り抜け竹の秋 （隆治）

屋形船墨田の川に風光る （正佳）

米の値は高きままにて行く春ぞ （孝昭）

夏帽子インバウンドの繊維街 （貴美）

車窓より眺むる富士の春霞 （奉男）

静かなる雲の流れや夏を待つ （前歩）

わらび餅のきなこ吹き飛ぶ春の風 （平六）

白鯨のごと残雪の浅間山 （正雄）